

教育事業名	平成29年度 教育事業 <h1 style="text-align: center;">日本列島ともだちの輪（冬編）</h1>								
事業の趣旨	異なる地域の子どもたちが交流し、生活様式や自然環境などの違いを体験するとともに、ともだちの輪を広げ、各地域の良さを発見する。								
対象者	小学5年生から中学校2年生（夏編の参加者）								
実施期間	平成30年2月10日（土）～平成30年2月12日（月）2泊3日								
参加者（人数/定員）	28名/30名								
活動プログラム	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">2月10日[土]</th> <th style="width: 33%;">2月11日[日]</th> <th style="width: 33%;">2月12日[月]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 8:00 集合 8:30 高知出発 14:00 はじめのつどい 14:30 ともだち再会交流ゲーム 16:00 丹波栗でクッキーづくり 17:30 夕食 19:00 リーダーや班との交流会 21:30 就寝 </td> <td> 10:00 スキー教室 12:00 昼食 13:00 スキー体験 or 雪遊び 19:00 お別れパーティー 20:00 感想発表会 22:00 就寝 </td> <td> 9:45 丹波電化石工房見学 化石発掘体験 12:00 感想・アンケート記入 12:15 おわりのつどい 12:30 昼食 13:00 丹波出発 18:30 高知着・解散 </td> </tr> </tbody> </table>			2月10日[土]	2月11日[日]	2月12日[月]	8:00 集合 8:30 高知出発 14:00 はじめのつどい 14:30 ともだち再会交流ゲーム 16:00 丹波栗でクッキーづくり 17:30 夕食 19:00 リーダーや班との交流会 21:30 就寝	10:00 スキー教室 12:00 昼食 13:00 スキー体験 or 雪遊び 19:00 お別れパーティー 20:00 感想発表会 22:00 就寝	9:45 丹波電化石工房見学 化石発掘体験 12:00 感想・アンケート記入 12:15 おわりのつどい 12:30 昼食 13:00 丹波出発 18:30 高知着・解散
2月10日[土]	2月11日[日]	2月12日[月]							
8:00 集合 8:30 高知出発 14:00 はじめのつどい 14:30 ともだち再会交流ゲーム 16:00 丹波栗でクッキーづくり 17:30 夕食 19:00 リーダーや班との交流会 21:30 就寝	10:00 スキー教室 12:00 昼食 13:00 スキー体験 or 雪遊び 19:00 お別れパーティー 20:00 感想発表会 22:00 就寝	9:45 丹波電化石工房見学 化石発掘体験 12:00 感想・アンケート記入 12:15 おわりのつどい 12:30 昼食 13:00 丹波出発 18:30 高知着・解散							
活動の様子	<p>（1日目）</p> <p>全国的にインフルエンザが流行しており事業実施が危ぶまれたが、体調不良による欠席は1名だけで、28名の参加者を乗せて高知から丹波に向けて出発した。途中昼食やトイレ休憩をはさみながら、バスによる6時間の移動を行い、丹波少年自然の家に着いた。丹波少年自然の家周辺には先週降った雪が残っていた。夏編で別れた丹波の友達と再会し、気持ちが高揚する様子が見られた。丹波の参加者に案内されて自分の部屋で荷物を降ろし、班ごとに再会を楽しむ交流ゲームを行った。長縄跳びをしたり、ドミノをしたり、施設内をオリエンテーリングしたりと班ごとに再会を楽しんでいた。ゲームの後は、丹波栗を使ったクッキーづくりを行った。栗のつぶし方やバター</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;"> <p>の量、クッキーの大きさなどそれぞれの班の個性が表れていた。夕食後、焼きあがったクッキーを食べながら、歓談をした。共同作業を行い、美味しいものを食べることで時間が隔てていたお互いの距離をぐっと縮めることができていたように思う。その後、リーダー企画のゲームを全体で行い、翌日のスキーに備えて早めの就寝となった。</p> </div> </div> <p>（2日目）</p> <p>前日の雨も上がり、池の水も凍る厳しい冷え込みの中、意気揚々とスキー場に向けてバスに乗り込んだ。三連休の中日ということもあり、スキー場へ向かう道はスキー客と思われる車で渋滞していたが、おおむね予定していた時間通りに到着することができた。スキーウェアに着替えて、</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div> <p>リフト券を受け取り興奮気味にゲレンデへと出て行った。インストラクターから諸注意を受けて、クラス別のスキー体験が始まった。ときおり強い風で地面の雪が舞い上がる地吹雪の中での講習となったが、滑れるようになりたい一心で黙々と練習に取り組んだ。講習の後半では、スキーを初めて体験した初級クラスのメンバーもリフトに乗り、一団となって滑り降りてくる姿が見られた。2時間前には考えられない風景で、満足した表情で昼食に帰ってくる者が多かった。昼食のカレーをっか</p>								

り食べて、午後からはスキー体験を続ける者と雪遊びをする者に分かれて活動した。中級クラスのメンバーは全員スキー体験をすることとなり、リフトに乗ってあつという間に山頂へと消えていった。初級クラスもスタッフやリーダーと一緒に滑りながら、止まったり曲がったりといった基本技術が身についてきたようで、休むことなく滑り続けていた。雪遊びのチームは最初はゲレンデの中で雪をかき集めて遊んでいたが、後半は吹き溜まりの新雪を見つけて、誰も踏み込んでいない雪の感触を体全身を使って楽しんでいた。髪の毛やまつ毛が凍りついてしたが、笑顔に溢れ思い切り楽しんできた様子がうかがわれた。名残惜しい気持ちを残しながらスキー場を後にし、丹波少年自然の家へと戻り、



お別れパーティーを行った後、夏編から続く日本列島ともだちの輪全体の感想発表会を行った。全員が感想を発表したが、友達との関わりが深まったことやリーダーのやさしさ等に触れる発表が多く聞かれた。

(3日目)

最終日となり、荷物をバスに積み込み丹波少年自然の家を出発した。二つの班に分かれて、化石発掘体験と化石工房見学を交代で行った。丹波竜が発掘された場所の岩石を割り、本物の化石が出るということで、目の色を変えて一心不乱に石を割り、出てきたものを係の方に鑑定してもらっていた。そんな中、トカゲやカエルの化石に続いて丹波竜の化石が出てきて盛り上がった。きっと掘り出した本人には一生忘れられない思い出になったと



思われる。体験後、場所を移動して2つの班が集まり、おわりのつどいを行った。夏編の3泊4日、冬編の2泊3日、あわせて5泊7日の長い期間ともに過ごした友達やリーダーとの別れを実感する声がたくさん聞かれた。昼食の後、いよいよ別れの時となり、室戸の参加者がバスに乗り込み、丹波の参加者が手を振って見送ってくれた。バス出発後、しばらく車内は別れの余韻に浸っていた。四国に降った大雪の影響で高速道路の

の通行止めが各所で行われていたが、運よく解除され、予定通り高知まで帰ることができた。参加者は満面の笑みをたたえながら、迎えに来た保護者にスキーの話をしたり、お土産を渡したりしながら帰って行った。

事業の成果

一番楽しみにしていた活動はスキー体験であったが、3日間を終えての参加者の感想の大半が、友達との交流が深まったことであり十分にねらいが達成できた。

高知県と兵庫県のボランティアリーダーが共に活動することで、お互いのノウハウを共有しあえた。今後の活動に生かされていくことが期待される。

事業の課題

全国的にインフルエンザが流行している中での実施となった。マスク着用や手や口の消毒などの徹底を行ったが、寒くて乾燥する時期でもあり、健康管理に課題が残る。

参加者の感想

- ・夏編の別れと違って、冬編は次の再会がないので本当に寂しい。
- ・夏編では最初戸惑ったけど、冬編では最初から打ち解けて話をする事ができた。
- ・初めてのスキーでたくさん転んだけど、みんな励ましてくれたり助けってくれたりして嬉しかった。
- ・本当に楽しい7日間で、班の友達やリーダーには「ありがとう」の言葉でいっぱいです。
- ・手紙を交換して、これからも交流が続けられる友達ができた。参加して良かった。
- ・会えない期間が6カ月もあったので、再会した時にはかなりテンションが上がった。